

山形県観光復興対策実施計画 評価調書

資料 5

都道府県名	山形県	計画に包摂される市町村	県内全市町村(35)					
計画期間	平成28年度～令和3年度	評価責任者	観光文化スポーツ部観光復活戦略課 吉田 正信					
計画の成果目標(定量的指標)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
指標①	外国人延べ宿泊者数(単位:人)	80,000	100,000	120,000	150,000	180,000	180,000	
指標②	外国人旅行消費額(単位:百万円)	5,400	7,800	10,100	12,500	15,000	15,000	
指標③								

1 定量的指標に関連する交付金事業の効果の発現状況	山形県の外国人観光客受入延人数の増加 H27:96,847人 ⇒ H28:127,731人 ⇒ H29:190,639人 ⇒ H30:252,289人 ⇒ R1:388,928人 ⇒R2:125,930人 ⇒ R3:17,083人				
2 定量的指標の達成状況	指標① 外国人延べ宿泊者数(単位:万人)	目標値	18	目標値の実現状況に関する評価	これまで培ってきたトップセールスをはじめとする官民一体となった誘客プロモーションが実を結び、平成30年度に本県初となる台湾との国際定期チャーター便の運航が実現したことや、仙台空港や各県等と連携したプロモーション及び受入環境整備等を通し誘客に努めた。令和2年、3年は新型コロナウイルス感染症の影響により激減したものの、継続した取組みにより令和元年に宿泊者数(従業員数10人以上の宿泊施設)では184,760人と本計画最終年度での成果目標を前倒しで達成することができた。一方で、東京など大都市圏と比べ宿泊者数は小さく、令和元年においても全国の0.18%に留まっていることから、継続したプロモーションによる認知度向上とともに、観光資源の一層の磨き上げや滞在型コンテンツの充実を進めていく必要がある。
		実績値	0.9		
	指標② 外国人旅行消費額(単位:億円)	目標値	150	目標値の実現状況に関する評価	
		実績値	-		
	指標③	目標値		目標値の実現状況に関する評価	
		実績値			
3 事業の進捗状況	新型コロナウイルス感染症の影響で、一部事業を繰越して対応したが、概ね順調に進めることができた。				
4 評価方法	自己評価のうえ、山形県国際戦略検証委員会において意見聴取				
5 評価の公表方法	県ホームページにおいて公表				
6 計画全体の総合評価	本観光復興対策実施計画では、東北復興対策交付金を活用したインバウンド向けプロモーション事業と受入環境整備事業、滞在コンテンツ充実強化事業を重点的に実施した。その結果、宿泊者数は令和元年に目標を達成し、増加する外国人観光客に対して、ニーズに合致し、かつ、時宜を得た事業を展開できている。消費額については、宿泊者数の伸びからは一定程度増加できたものの、全国的にモノからコトに消費の流れが変化していることによる単価の低下もあり、令和元年度の目標達成に至らなかった。計画の最終年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大から、インバウンドの復活はならず、目標達成に至らないものの、今後の往来再開に向け、訪日の際には本県を選んでいただけるよう、継続したプロモーションが重要となる。				
7 今後の方針等	令和元年度までの本観光復興対策実施計画においては、円滑に事業が進んでおり、目標値の達成に向けて、取り組んでいた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大から、出入国が制限され、その中においても実行できる内容に変更のうえ、プロモーションや受入態勢の整備を中心に実施した。東北観光復興対策交付金を活用し、これまで積み上げた各種コンテンツや整備した環境を活かしながら、往来再開後の本県インバウンドの復活に向け、ウィズコロナ期のニーズに応じながら、データに基づくマーケティングとプロモーションに取り組んでいく。				